



# 実践者から観光学ぶ

但馬技術  
大学校 新学科の講義始まる

但馬技術大学校(豊岡市九日市上町)に、本年度から開設された総合ビジネス学科のカリキュラム「観光概論」が18日から始まった。観光分野の第一線で活躍する人物を講師に招き、観光の潮流や訪日客対策などを学ぶ。初

日は城崎温泉の旅館を巡り、文化や観光戦略を学んだ。同学科は、事務職に求められる技能や、但馬ではさまざまな業種で関わりの深い観光について学習。地域で活躍する事務職人材の育成を目指す。

原会長(右)から、温泉街の歴史や文化、風土について説明を受ける学生ら。18日、豊岡市の城崎温泉街

もさまざまな形で城崎の振興に関わる。共存共栄が城崎のDNA」と誇った。

観光概論は年60時間を割り、地元観光協会やDMO(観光地づくり組織)のアドバイザーを務める大学教授などが、講師を務める。

その後、皇室専用の貴賓館「詠掃亭」がある老舗旅館「ゆとつや」など、4旅館を見学。滞在客に配慮した空間づくりやもてなしの精神、旅館に刻まれた歴史や文化を体感した。

初講義は座学から始まり、同温泉観光協会長の原良式さん(52)が、欧米の個人旅行者をターゲットとした観光戦略や、文化芸術振興の効果を説明。人件費をほぼ計上しない協会予算に触れ、「住民

香美町香住区若松から通う浜本凌維さん(18)は「経営や観光に興味があり、うってつけの学科。第一線で活躍する人の視点は勉強になる」と説明に聴き入っていた。

会予算に触れ、「住民

(福谷二月)